

# Sato Churyo: Rereading Three Masterpieces

佐藤忠良(1912~2011)は戦後日本の具象彫刻を代表する作家であり、『おおきなかぶ』をはじめとする絵本挿絵でも知られています。宮城県に生まれ、少年時代を北海道で過ごした佐藤は画家を志して上京しますが、ロダンやその弟子達の彫刻に魅せられて東京美術学校(現・東京藝術大学)彫刻科に入学、卒業後、新制作派協会(現・新制作協会)の彫刻部創設に参加しました。しかし、軍の召集を受けて旧満州に渡ると、終戦後に3年間の過酷なシベリア抑留を経験します。復員後は再び制作の世界に戻り、一貫して具象彫刻の道を歩きました。

生誕110年を機に開催する本展覧会では、佐藤が手掛けた三つの傑作に焦点をあてます。「日本人の手で初めて日本人の顔を表現した」と高く評価された《群馬の人》。身体と衣服によって生まれる形態の均衡を意識し、独自の具象表現に至った《帽子・夏》。そして、動感あふれる描写とリズムカルな場面展開によって読者の心をつかみ、いまや三世代にわたって読み継がれているロングセラー絵本『おおきなかぶ』。これら三つの傑作誕生の背景を、彫刻や素描、絵本原画、そして佐藤自身が収集したロダンやマリニー、ピカソらの作品からなる「佐藤忠良コレクション」を手掛かりに紐解いていきます。

## 第1章 《群馬の人》——フランス近代彫刻から学んだもの



《木曾》1955年 ブロンズ photo©上野則宏



《ふざけっこ》1964年 ブロンズ photo©上野則宏



《古河炭砒・ズリ山》1956年 紙、鉛筆・コンテ いわき市立美術館蔵(後期展示)



オーギュスト・ロダン《台の上に屈む裸婦》制作年不詳 紙、鉛筆・水彩 佐藤忠良コレクション(後期展示)



《帽子・夏》1972年 ブロンズ photo©佐々木香輔

## 第3章 『おおきなかぶ』——画家・佐藤忠良の足跡



《静物》1930年頃 カンヴァスボード、油彩



《横で死体を埋めに行く捕虜たち》1980年 紙、鉛筆・水彩(前期展示)



『チャイコフスキー』紙芝居原画 8頁 [1962年2月刊] 紙、鉛筆・水彩(後期展示)



パブロ・ピカソ《男の頭部》1967年 紙、水彩 佐藤忠良コレクション(前期展示) Pablo Picasso ©2022 - Succession Pablo Picasso - BCF (JAPAN)



『ゆきむすめ』絵本原画 8-9頁 [1963年2月刊] 紙、水彩・コンテ・鉛筆(前期後期で場面替え・本図は前期展示)

## 第2章 《帽子・夏》——イタリア近代彫刻への共感と空間の探求



《娘の像》1959年(61年に一部改変) ブロンズ photo©上野則宏



《円い椅子》1973年 ブロンズ photo©上野則宏



《ボタン(大)》1967-69年 ブロンズ photo©佐々木香輔



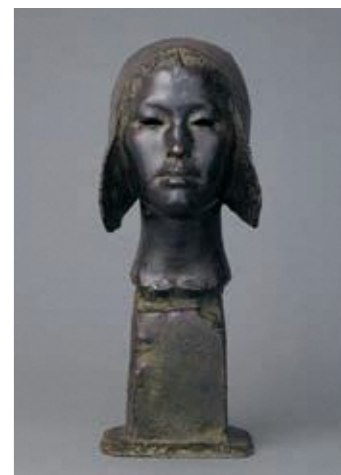
マリノ・マリニー(マルク・シャガールの肖像)1962年 ブロンズ 佐藤忠良コレクション photo©佐藤 英 ©SIAE, Roma & JASPAR, Tokyo, 2022 X0079



《娘の像》1959年 紙、コンテ(前期展示)



《チコ》1989年 紙、コンテ・色鉛筆・クレヨン(前期展示)



《ラップ帽》1982年 ブロンズ photo©上野則宏

\*《古河炭砒・ズリ山》以外、掲載作品はいずれも宮城県美術館蔵

### 会期中の催し

#### 講演会「佐藤忠良が遺したもの」

講師：三上満良(本展覧会監修・元宮城県美術館副館長)  
日時：11月23日(水・祝) 14:00~16:00  
会場：3階セミナー室 料金：無料 定員：30名  
参加：要申込・先着順・10月12日(水)より電話受付(開館時間のみ受付/0246-25-1111)

#### ワークショップ「手で触れる鑑賞会」

目の不自由な方を対象に、本展覧会に出品されている彫刻作品を手で触れて鑑賞するワークショップです。  
日時：11月26日(土)  
①10:00~11:00 ②13:30~14:30 ③15:30~16:30  
11月27日(日)  
④10:00~11:00 ⑤13:30~14:30 ⑥15:30~16:30  
会場：2階企画展示室 料金：無料  
定員：各回5名(参加者1人につき1名同伴可)  
対象：目の不自由な方(全盲、準盲、弱視の方)  
参加：要申込・先着順・10月12日(水)より電話受付(開館時間のみ受付/0246-25-1111)  
協力：視覚障害者サポートグループゆかり いわき点訳グループ

\*身体障害者手帳をお持ちください。  
\*同伴の方は入場料が必要ですが、身体障害者手帳第1種をお持ちの場合、同伴の方1名まで無料となります。

#### 公開制作・実技講座「屋外彫刻のメンテナンス」

いわき市内にも多数設置されている屋外彫刻の洗浄・お手入れを彫刻家・黒川弘毅さんの指導のもと実践します。  
講師：黒川弘毅(彫刻家・武蔵野美術大学彫刻学教授)  
日時：①12月3日(土) 14:00~16:00  
②12月4日(日) 10:00~12:00  
③12月4日(日) 14:00~16:00  
会場：①湯本駅前 ②いわき市立美術館前 ③いわき駅前  
料金：無料 定員：各回10名  
対象：小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)  
参加：要申込・先着順・10月12日(水)より電話受付(開館時間のみ受付/0246-25-1111)

\*講師実演の様子は公開制作として自由に見学できます。  
\*現地集合です。詳細はお申込み時にお伝えします。  
\*悪天時は「屋内彫刻のメンテナンス」(同日・いわき市立美術館内)に変更します。変更の際は指館から参加者に通知いたします。

#### スライドトーク「展覧会の見どころ」

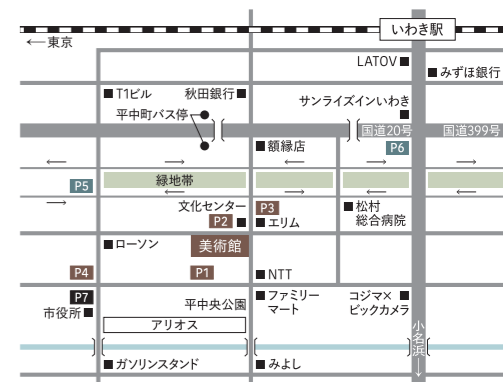
講師：本展覧会担当学芸員  
日時：12月10日(土) 14:00~15:00  
会場：3階セミナー室 料金：無料 定員：30名  
参加：申込不要・先着順・直接会場にお越しください

\*感染拡大防止のため、ご来場の際はマスクの着用、手指の消毒にご協力ください。  
\*予定は変更・中止となる場合がございます。  
\*最新の情報に関しましては当館HPよりご確認ください。

### 同時開催

#### 「ニューアートシーン・イン・いわき 竹内公太展 浜の向こう」

会期：11月3日(木・祝)~12月18日(日)  
会場：1階ロビー 料金：無料



交通案内  
●JR常磐線「いわき」駅南口より徒歩12分  
●高速バス(東京-いわき線、郡山-会津若松-いわき線、福島-いわき線)平中町バス停より徒歩3分  
●常磐・磐越自動車道いわき中央ICより車で15分  
○駐車場は近隣の公共駐車場をご利用ください。P1 美術館(44台)、P2 文化センター(69台)、P3 エリム(19台)、P4 童子町(82台)  
○有料駐車場 P5 平新川(51台)、P6 平十五丁目(131台)は美術館利用の場合、最大3時間までの駐車券を1階受付にてお渡しします。  
○P7 市役所駐車場(240台)は土・日・祝日に一般開放しています。

いわき市立美術館  
Iwaki City Art Museum

〒970-8026 福島県いわき市平字堂根町4-4  
Tel. 0246-25-1111 Fax. 0246-25-1115  
http://www.city.iwaki.lg.jp/artmuseum.html

